

支援プログラム

事業所名 はるか

2025年 3月 1日

事業所理念	集団生活の中で、沢山の経験を重ねて、親子共に自信を持って地域社会に出るための土台づくり		
-------	---------------------------------------------	--	--

支援方針	ダウン症に特化した早期療育 障がい児のいる家族をサポートし、事業所と家族で療育に取り組み楽しく笑顔で日々を過ごす		
------	-------------------------------------------------------------	--	--

営業時間	10:00 ~ 18:00	送迎	保護者同伴での通所のため、送迎はありませんが最寄り駅（南海高野線、北野田駅）からの送迎はあり
------	---------------	----	------------------------------------------------

支援内容

本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・親子教室では感覚遊び・リズム遊び・歌・絵本読み聞かせ・玩具での遊びを通して姿勢、運動、注視、追視など運動機能や認知機能の基盤づくりをします。また、各専門療育の内容が、子ども日常生活の中で効果的に繰り返されるよう保育の中で親子を指導し、発達を促します。 ・モンテクラスでは、療育の主体をお子さんに置き「自発的に自らやりたいところを選んで」そして達成し満足感を得て「できる！」という自己肯定感を育みます。また 小さな成功体験を積み重ねる事で、自信が付き挑戦する心を育てていきます。 ・音楽療育を早期療育に取り入れることにより、子どもの情緒の安定を図ります。 ・言語聴覚士との親子参加の個別療育の中で、食べる、飲むためのお口の発達とコミュニケーションやことばの発達を促進したり、食に関する（離乳食・偏食・小食）相談に乗り、ひとりひとりに合わせた支援をしていきます。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて五感を刺激する身体活動や楽器活動を通して発達を支援します。一番信頼できるご家族と一緒に楽しむ中で親と子の情緒安定と、発達に必要な動きを自然に体得でき、脳の活性化身体の運動性の向上などを高めていきます。 ・ベビーマッサージでは、スキンシップを通して親子の絆を深めながら筋力の発達を促します。全身に心地よい刺激を与えて、脳の発達や運動神経など、さまざまな器官の発達、成長をサポートしていきます。 ・スイミングでは、感覚・知的に有効な刺激を与え、水中の自由な運動体験で正常姿勢反応と正常運動発達の促進を図ります。心肺機能が上がる筋肉・基礎体力をつけ、水に慣れる事を目的としています。 ・PTによる運動指導では、寝返りやお座り、立つ、歩くなどの大きな動きを行う運動発達を支援しています。歩行が完了した後も、走るなどの応用の動きや、お子さんに合った環境調整など引き続きサポートしていきます。 ・親子教室での感触遊びでは、色々な素材に触れ、脳幹に沢山の刺激を取り入れることで発達を促していきます。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・リトミックでは、「楽しみながら」子どもたちの「できた！」の笑顔を増やし【達成感】の経験を感じてもらい、達成感から繋がる”子どもたちひとりひとりの”「発達」を育てていく。 ・モンテッソーリでは、自分で教材を選び使い方を知り片付けるところまでを目的とし、主体性の行動へと繋げていきます。ひとりひとりの気持ちの違いに合わせてながら子どもの発達に合わせて、その子らしくその子がしたい活動が出来るよう支援をしていきます。 ・OTによる生活動作指導では、ご飯を食べる、道具を使う、服を着替えるなど日常生活を行う活動を「作業」を通じて取り組んでいきます。 		
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽療育で、音楽や身体の動きを通じて感受性、理解を育てることを目標にしコミュニケーションの支援に繋げていきます。 ・ベビースイミングでは発語の基礎である口腔や呼吸機能の発達を促進し、後の言語表出の成長の基礎を作っていきます。 ・言語療法：ダウン症の子どもたちの特性に合わせて特に、自発的コミュニケーションの力をつけることを大切に、はるか独自の言語訓練プログラムで発語を促していきます。 <p>従来のスピーチセラピーに限定せず、ABAや、PECS®なども取り入れています。</p>		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての集団生活の中で、親子での心の安定とバランスがとれている状態を作っていく、次第に自分と他者の違いを認識するようになります。その時に他者との繋がりを持てるように中に入り支援をしています。 ・全ての療育で講師と他者を認識し、指示が通るように支援していきます。また、自分の伝えたいことをサインや絵カードなどで表現し、気持ちを伝えることを知り、地域社会に出ても安心して生活できるように基盤づくりをしていきます。 		

家族支援	生後間もない保護者の方も多く、将来に向けての不安も大きいので、まずは悩み事や困り事についての話をしっかり聴いていきます。また子どもの発達において、必要な療育を案内したり、家庭でも一緒に出来る支援の仕方を伝えていきます。	移行支援	保護者の思いや子どもの現状、活動の場での様子や、相談員などの関係機関との情報をもとに就園、就学及び併行利用先との連携をとっていきます。また、子どもにとってより良い環境・支援に移行できるように保護者と共に考えていきます。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域支援 地域連携	サービス担当者会議を通じて、関係機関との連携を図る。園や学校、療育施設など、当事業所に通う子どもの支援が皆同じ方向を向き、連携のとれた状態で行えるようにしていくことを目的としています。	職員の 質の向上	より質の高い支援が行えるように、月に一度会議の時間を設け情報交換をしています。各人材の得意分野を存分に発揮できる場を作り、子どもたちの支援へと繋げています。
--------------	----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------

主な行事等	<p>お花見・はるみらフェス・夏祭り・ハロウィン・クリスマス・お楽しみ会</p> <p>不定期で、外出イベント・ダウン症に関する勉強会</p> <p>はるか保護者の会：バーベキュー、鍋パーティー</p>		
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--